



不安定なお天気が続いています。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。体調やけがに気を付けながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

## 園児健診について

6月と7月に歯科健診、内科健診、尿検査(尿蛋白・糖)を行いました。

健診の中で様々な子どもたちの成長を感じることができました。お医者さんを前にして、涙が出てしまう子はいましたが、嫌がる子はほとんどいませんでした。幼児クラスは自ら、「おねがいします。」「ありがとうございました。」の挨拶ができる子が多くいました。自分より先の診察の様子をじっと見て、お医者さんに「すごいなー。」と褒められている友だちがいると、自分も頑張ろうという子どもたちの思いが伝わってきました。

園歯科医の渡辺先生と園医の久徳先生も、進んで診察を受ける様子を見て、お褒めの言葉をいただきました。

渡辺先生からは、「口腔環境が悪い子が少ない。お子さんの歯に関心が高い親御さんが多いですね。」、久徳先生からは、「特に受診が必要なお子さんはいないですね。みんな元気です。」とお話がありました。

健診、検査結果に関しては、受診が必要なご家庭に個別にお知らせします。



## とびひ



とびひは、虫刺されやアトピー性皮膚炎などで傷ついた肌に、細菌が感染して発症します。子どもが土や砂などを触った手でかかないように、爪は短く切っておきましょう。虫刺されも早めにケアすることが大切です。

### 主な症状

- 虫刺されや切り傷、湿疹の後にできる、膿を持ったような痒みのある水疱
- 水疱がやぶれて、赤いただれが広がる

水疱が破れて中の液が、他の部分につくと次々ととびひが広がります。ガーゼで覆い、早めの受診をお願いします。

## 水分補給



大人の体は7割近くが水分です。乳幼児はさらにその割合が増え、生まれたばかりの乳児だと、なんと8割近くになります。その分、失われる水分量も多く、こまめな水分補給が必要になります。

### 水分補給のポイント

- 起床時、就寝前、運動の前後、入浴前後など、汗をかく前と後に飲ませるのがよいでしょう。
- 一度に大量を与えるのは避け、コップ1杯程度の量をこまめに与えましょう。
- 病気にかかっていなければ白湯や麦茶などがよいでしょう。糖分の多いジュースや、消化に時間のかかる牛乳、硬度の高いミネラルウォーターは、水分補給という点ではあまり適しません。失われた電解質を補充する時は、経口補水液が役立ちます。